

まゆだま

第15号
長野県上水内郡信州新町上条137
☎026-262-3111
JA長野厚生連 新町病院
発行責任者
小瀬川和雄
<http://hans.or.jp/tenri/hokuseino-shimachi/index.htm>

新町病院理念

私たちは、人のいのちと心を
大切にす医療を実践します。

<基本方針>

1. JA長野厚生連理念のもと、地域の皆さんに安心の保健・医療・福祉を提供します。
2. 患者さんの人権を尊重し、要望にそった良質な医療を遂行します。
3. 提供する医療サービスの向上に努めます。

JA長野厚生連理念

JA長野厚生連は、JA綱領のもとに医療活動を通じ、
組合員・地域住民のいのちと生きがいのある暮らしを守り、
健康で豊かな地域づくりに貢献します。

<行動目標>

1. 私たちは、医療に携わる者として、常に人間性を磨くとともに知識と技術の修得につとめます。
2. 私たちは、地域のニーズを尊重し、親切で良質な保健・福祉サービスの提供につとめます。
3. 私たちは、組合員・地域住民の主体的な参加のもとに、労働組合とともに民主的な運営と健全な経営につとめます。
4. 私たちは、農村医学と農村医療の確立と発展につとめ、農業と農村を守ります。
5. 私たちは、教育・文化・地域活動を積極的に推進し、地域の信頼を高め連携強化につとめます。

小口名誉院長、瑞宝双光章を受章

小口国弘名誉院長が、今年度の秋の叙勲で瑞宝双光章を受章されました。

小口名誉院長は、昭和45年4月に院長に就任して以来、平成9年3月末までの25年間に亘り当院の院長を務められ、信州新町ほか西山丘陵地区の医療の充実にご尽力されました。また、全面的な増改築工事を数回にわたり行い、施設の近代化はもとより、病床の拡大や診療体制の拡充に努めてこられました。

昭和54年より、診療圏内の無医村地区での医療確保のため、巡回診療を開始し、現在も名誉院長自ら、このへき地巡回診療に出かけられています。

こうした地域医療への積極的な取組みにより、昭和63年に「長野県へき地中核病院」の指定をうけることができました。

現在も、新町病院

名誉院長として、地域医療に積極的な活動をしておられます。また、今回の叙勲受章にあたり、中村靖信州新町長、清水啓介上水内医師会長、当院の小瀬川和雄院長、藤本宗行名誉院長の皆さんが発起人会を結成し、受章の栄誉をたたえて叙勲受章祝賀会を長野市内において開催いたしました。当日は各界よりご臨席を賜り、ご来賓の皆様よりそれぞれのお立場でご祝辞を頂き盛会となりました。今後ともご健康でご活躍されることをお祈り申し上げます。

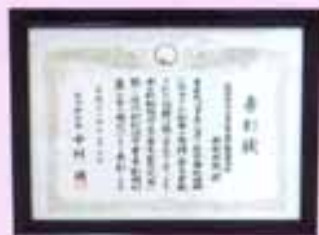


信州新町から表彰状をいただきました

新町病院は、11月3日に挙行された信州新町町政施行50周年記念式典において、信州新町より、地域医療、住民の健康・福祉等の社会福祉振興における功績に対して、表彰をしていただきました。

式典には町内外から300名余が参列され、当院からは、小瀬川和雄院長が出席し病院を代表して表彰を受けました。

いただきました表彰状は、患者様の中央待合室に掲示いたしました。今後、地域の皆様のお役に立てますように、さらに努力してまいります。



信州新町はアート&グルメのまち 新町病院のアート紹介

信州新町は、アート&グルメの町と呼ばれ、グルメはジンギスカンやサフォーク肉で有名ですが、町営の美術館や化石博物館、有馬生馬記念館をはじめとするアートの町としても知られています。

そこで、病院内にあるアートをご紹介します。

今回ご紹介するのは、新町病院の正面玄関前にあります「黙」の彫塑像です。

昭和48年に診療棟・管理棟・病棟改築工事が行われ、現在の中央待合室前に中庭を造った際、当時、信州新町長をしていただいた岡崎房太郎氏より、信州新町出身の彫刻家、



宮尾応栄氏の作品を寄贈していただいたものです。

この像は、岡崎氏により「黙」と命名され、現在は当院においてくださる皆様に良く見えるようにと、正面玄関前に移動し、ひっそりとたたずんでいます。

最近、当院をご利用くださる方のご好意により修復塗装を終え、お色直しをして見違えるようにきれいになりました。

宮尾応栄氏
信州新町出身の彫刻家。県内ただ一つの産産を信州新町「不動温泉さざり荘」近くの不動滝・琵琶湖の流れる岩筋に高さ4mの如來を5年の歳月をかけて造ったことである。

人間ドック随時受付中

年に一度は、人間ドックで健康チェックしませんか？ 詳しくは、健康管理センターまでどうぞ！
新町病院健康管理センター ☎026-262-3111 (代)

健康メモ

花粉症



新町病院 内科 佐藤悦郎

今年も花粉症の方に憂鬱な季節がやってきました。

しかも今年は観測史上、一、二を争う多量の花粉が飛散すると予測されています。厚生労働省もこの春予想されているスギ花粉の大量飛散に備えて、緊急の花粉症対策を実施するようですが、こうした対策を取るのは初めてです。

くしゃみや鼻水がでた場合には、今まで花粉症でなかった方も、今年医療機関を受診して診断を受けたほうがよいかもしれません。

花粉症の症状は、くしゃみ、鼻水、目の痒みが三主徴とされていますが、その他に微熱、頭痛、全身倦怠感などもしばしば見られ、カゼによる症状と区別が難しいこともあります。日本ではスギ花粉症が最も多く、春になって一斉に症状が現れる患者さんの場合では診断は容易なのですが、まれな花粉では診断が難しいことがあります。まぎらわしい時には血液検査、鼻汁の検査などにより診断を行います。今年の春の症状が花粉症以外の疾患によるものなのか疑問を感じているのであれば、症状が出た時に耳鼻咽喉科などへ受診して診断を確認してもらったほうがよいでしょう。受診するのは個人開業医でも総合病院でもよいと思います。

花粉症の治療としては生活指導と薬物療法が主なもので、この二つで多くの場合コントロールが可能ですが、生活指導は、まず可能ならば原因となる花粉を回避することが大切です。新聞、テレビで花粉情報が流されているので、花粉の多い日には外出を控え、やむをえず外出しなければならぬときにはマスクや眼鏡をかけるなどします。帰宅後はうがい、洗顔により花粉を除去することも効果があるでしょう。

薬物療法には経口的に使用するものと、点眼薬、点鼻薬などの局所的に使用するものがあります。飲み薬は花粉が飛散し始める約二週間前から開始すると効果が最も認められるもの、眠気が起こりやすいものなどがありますので医師の指示、添付文書などをよく確かめてから使用してください。局所的な症状が強いときには点眼薬、点鼻薬などを併用してもよいでしょう。その他に減感作療法、手術療法等もありますが、最初に試みる治療法ではないので、専門家に相談してから慎重に判断しましょう。



「新町病院理念」が完成

当院では、かねてより懸案でありました新町病院理念がこのほど完成しました。

病院理念とは、病院やそこで働く職員が目指していく方向性や行動目標を明文化したものです。

長野県厚生連には、JA綱領にもとづいた統一のJA長野厚生連理念があります。JA長野厚生連の各病院ではその病院ごとに、地域性や独自の特徴を盛り込んだ理念を掲げておられます。

完成しました、新町病院理念は、「私たちは、人のいのちと心を大切にしたい医療を実践します。」です。

- 基本方針
- 一、JA長野厚生連理念のもと、地域の皆さんに安心の保健・医療、福祉を提供します。
 - 二、患者さんの人権を尊重し、要望にそった良質な医療を遂行します。
 - 三、提供する医療サービスの質の向上に努めます。
- といたしました。

新町病院理念と基本方針の解説

人のいのちと心を大切にしたい医療

「いのち」は、命であることのはか、健康、人間らしさ、「心」は人間の尊厳を意味しております。私たち新町病院は、診療の基本として、

人が人として生きていくことを尊重し、病気だけを診るのでなくその患者さんを精神面でも支えていく医療を実践します。

地域の皆さんに

新町病院は、地域の皆様のもので、住民参加の協同組合の精神を示しています。

安心の保健・医療・福祉

地域で暮らす住民の皆様には生涯を通じて保健・医療・福祉を包含した安心の医療を提供し、この地域での心豊かな生活を支援します。

人権を尊重

当院をご利用される患者さんすべての人権を尊重いたします。

要望にそった良質な医療

患者さんにとって、その場面で最も良いと考え得る医療を説明と同意に基づき行います。

医療サービスの質の向上

医療人としての誇りを持ち、常に医療知識と技術の研鑽に努め患者さんに提供する医療サービスの質の向上に努めます。

この新町病院理念は、十一月から正面玄関ホールに掲げてあります。職員一同、この理念のもと、地域で生活する皆様のご期待に応えられるよう、当院の果たすべき役割をしっかりと胸に刻み努力してまいります。



▲職員によるゴレンジャーとチアガール



▲J A直販・ゲームコーナー



▲ミニ学習会のようす

チャリティーバザーの売上金を 新潟中越地震の救援募金に寄付しました



▲J A長野中央会の若林専務と矢澤参事に
義援金を手渡す古川主任と松尾看護部長

病院祭の企画準備が進む中で、新潟県中越地震被災者の方々に、当院のように小規模な病院では、医療チームの派遣は困難であるが、病院職員が何か協力できることはないかという思いから、今回の病院祭でチャリティーバザーを実施することにしました。チャリティーバザーによせる私たちの思いを地域の皆さんにご理解頂き、職員の持ち寄った品物を快く購入していただきました。

病院と地域の皆さんの思いがひとつになった義援金となりました。昨年は、病院周辺でも台風22・23号により大小多数の土砂崩れ等の災害が発生し、道路のほとんどが通行止めになり、一時は信州新町が陸の孤島となってしまったこともあり、病院を利用する方々の生活にも大きな影響がでました。新潟県の地震災害は他人事ではありませんでした。義援金が中越地震被災者の方々に少しでも役立てばと考え、チャリティーバザー売上金75,050円をJ A長野県グループ新潟県中越地震災害募金の窓口となっていた、J A長野中央会の事務局に届けることができました。

バザーにご協力してくださった皆さん、ありがとうございました。

病院祭の企画準備が進む中で、新潟県中越地震被災者の方々に、当院のように小規模な病院では、医療チームの派遣は困難であるが、病院職員が何か協力できることはないかという思いから、今回の病院祭でチャリティーバザーを実施することにしました。チャリティーバザーによせる私たちの思いを地域の皆さんにご理解頂き、職員の持ち寄った品物を快く購入していただきました。

病院と地域の皆さんの思いがひとつになった義援金となりました。昨年は、病院周辺でも台風22・23号により大小多数の土砂崩れ等の災害が発生し、道路のほとんどが通行止めになり、一時



お陰様で

病院祭



盛大に開催できました



▲医師に開こうQ&Aのコーナー



▲▶リハビリテーションセンター鹿教湯病院名誉院長の市川英彦先生の講演では、厚生連医療に関わった44年間の経験を熱く語っていただきました。



開演宣言する
小瀬川和雄院長



▲作品展示コーナー



◀◀JAなかの船橋支所と信濃町支所の女性部の皆さんのフラダンス



▲オープニングでは信州新町中学校吹奏楽部の皆さんの演奏で盛り上げていただきました。



スタッフ紹介コーナー (健康管理センター)

健康管理センターは、保健師3人、看護師1人、事務職3人のスタッフで構成されています。

開院当初から、予防活動は医療と一体のものとして取り組んでまいりましたが、専任者が配置されたのは昭和50年でした。

当時は保健師（健康管理部の今昔を知る現在の保健師長）1人できりもりしていたのですが、人間ドック受診者やヘルススクリーニング受診者の増加にともない、スタッフも一人また一人と増員されて現在の体制ができました。

日常の忙しい業務の中で、7人全員のコミュニケーションを深めるため、毎月1回、健康管理センター内の定例会議を開催し、各種会議や出張の報告やテーマを決めての学習会のほか、意見交換も行っています。短い時間ではありますが、スタッフ間の情報共有や交流の場となっております。

当センターの主な業務内容は、人間ドック、各種がん検診、ヘルススクリーニング、健康教育、近隣市町村との連携など多岐にわたり、さまざまながたちで皆様の健康管理のお手伝いをさせていただいております。

人間ドックは、一年間に約1,500名の方が受診されています。年に一度、人間ドックの時だけ、お目にかかる方も多く、「七夕様みただね」とか「一年って早いね」が再会のごあいさつにもなっています。一年間変わりがなく健康で過ごされた方、病気を克服された方、病気とともに過ごされた方などさまざまな再会がありますが、どの再会も「またお会いできた」という喜びはひとしおであるスタッフ全員が思うところです。

また、人間ドックに限らず各検診などで受診者の方とお話させていただく中で、個々のお人柄や人生観、価値観に触れさせていただく機会が多くあります。このような機会に、私たちスタッフが多くのことを学びながら仕事に携わることができることにも感謝しています。

厚生連の中では、小規模な病院ではありますが、こうした個々の関わりを大切に、きめ細やかな保健サービスの向上を目指し、微力ではありますが、皆様の健康づくりのお手伝いができますよう、他職種との連携もさらに充実させて、健康管理活動を推進していきます。お気軽にお声をかけてくださいませよう、スタッフ一同お待ちしております。



■ 新町病院外来診療担当表 ■

平成17年3月1日～

	月	火	水	木	金	土
内科	1診 小瀬川 2診 堺澤 3診 荻原	1診 藤本 2診 細川	1診 小瀬川 2診 細川 3診 佐藤	1診 藤本 2診 堺澤	1診 小瀬川 2診 細川 3診 佐藤	1診 佐藤
小児科	北村	大塚	大塚	大塚	大塚	信大医師
外科	川手	3/31まで 山本 4/1から 増田	川手	3/31まで 山本 4/1から 増田	川手	3/31まで 山本 4/1から 増田
整形外科	薄井	藤澤	藤澤	山田①③⑤ 金井②④	藤澤	第1・4・5 パート
婦人科	-	増沢	-	信大医師	-	-
耳鼻科	信大医師 毎週午後のみ 受付午後2:00～午後4:30	-	信大医師 毎週午後のみ 受付午後2:00～午後4:30	-	-	信大医師 受付午後8:30～午前11:30
脳外科	-	信大(大屋) 第2・4週のみ	-	-	-	-
眼科	京本	金児	窪田	木暮	新井	信大医師
皮膚科	-	-	-	-	宇原	-
泌尿器科	-	-	小林	-	-	-

※外来受付時間は、耳鼻科を除き午前8時30分～午前11時30分迄です。但し、毎月第2土曜日、第3土曜日は休診です。
※4月より、外来診療担当医師が変更になる診療科があります。4月以降にご確認ください。

平成16年度防災訓練を実施

当院では、毎年防災訓練を実施しております。本年度は12月に二日間にわたり、初期消火訓練と新町消防署員を講師に招いての防火講習会、また避難救出訓練を行いました。

火災は起こらないにこした事はないのですが、万が一火災が発生したときは、より安全に、効率よく、病院内のすべての患者さんを、安全な場所まで避難誘導しなければなりません。こうした訓練を積み重ねることにより、慌てず、落ち着いて行動できるように、日頃から防火意識を高めるとともに、防災技術を向上できるよう心がけてまいります。



編集後記

「笑」の年がようやくやってきました。穏やかに、と願う四年を迎えました。昨年は、地域の皆様のお力添えにより病院祭を成功させることができました。本年も地域のニーズに対応できるように職員一同さらに努力してまいります。発行が遅れておりましたが「まろだま」をお届けいたします。皆様で「高覧」ください。